

## 森林環境イベント 第7回

### 「東御の森」(奈良原市有林)で、 森の自然を感じよう

日時：10月20日(土) 午前10時～正午(予定)  
(受付開始 午前9時30分)

定員：10名

場所：「東御の森」

集合場所：中部電力塩沢第二発電所前広場

(県道94号線沿い 湯の丸高原の看板が目印)

内容：◇野鳥の観察

◇樹木(木の実)の観察

講師：安部 拓也 (動物相調査員)

釜井 勝浩 (植物相調査員)

※両調査員は「東御の森」の自然環境調査を行なっています。

参加費：無料

申し込み・問い合わせ 農林課耕地林務係 (市川)

☎ 64-5898

10月17日(水)までに、上記へ電話でお申込みください。

雨天時は、中央公民館学習室で、「東御の森」に遊びにくる野鳥たちや、  
鳥の鳴き声のいろいろ、自然環境調査 などの話を聞きます。

主催：(公財)Save Earth Foundation (SEF)

協力：東御市 (公財)身体教育医学研究所

「東御の森」は、湯の丸高原の麓(高度約1,000m)に位置する市有林。  
広さはおよそ10ha、中央に所沢川が流れる溪畔林です。  
カラマツをはじめとする森の樹木が、  
降った雨を土壤に浸透させてゆっくりと流す「水源かん養」や  
土砂の流出を防ぐ機能を果たしています。

かつては、近隣の人達が薪をとったり炭焼きをしたり、山菜とりなどに  
この森を使っていました。現在は、いろいろな植物や動物などが、ひっそりと  
生活しています。そしてこの生きもの達が、森をまもるために重要な役割  
をもっています。

「東御の森」を歩きながら、樹木や草花、野鳥を観察しませんか？  
森の自然環境や生きものたちの命のつながり、  
森林の果たしている役割について、一緒に考えてみませんか？



このイベントは国土緑化推進機構「緑と水の森林ファンド」の交付金による助成事業です。

紅葉の「東御の森」を散策しながら、  
樹木(実)や鳥の見方、その暮らしなど、「東御の森」の自然環境について、楽しく学びましょう。  
樹木のこと、鳥のことなど、調査員の話しを聞きながら森を歩きたいという方におすすめです。  
ゆっくり話しながら、観察しながら歩きますので、子どもでも、楽しく参加できます。

- ◇ 双眼鏡による観察体験もします。双眼鏡はご用意いたします。
- ◇ 野鳥観察についての、初歩のやさしい資料を当日無料配布します。
  - ・野鳥の見方ガイドBOOK（東御の森で出会える野鳥の中から5種類選びました）

「東御の森」は、東御市新張(横堰から奈良原にかけて)にある市有林です。  
湯の丸高原の麓、県道94号線沿 所沢川の河畔に広がります。  
この森には、戦後植樹されたカラマツやヒノキの他に、  
かつて、薪や炭をはじめ、暮らしの中で活用していた多くの広葉樹もみられます。  
昆虫や木の実を食べにくる鳥、小動物もやってきます。



「東御の森」は、水源かん養・土砂災害防止の役割を果たしています

上小地域の県営林、市町村林、財産区有林が連携し、SGEC 森林認証を取得し、森林生態系に配慮した持続可能な森林経営をめざしています。

「東御の森」も、その一部です。

※SGEC 森林認証については、東御市ホームページをご覧ください。

#### (公財)Save Earth Foundation (SEF)の森林保全活動について

東御市との保全協定に基づき、「東御の森」(奈良原市有林)の保全活動を実施しています。  
生物多様性を維持するための自然環境調査や、在来種保全をめざし、  
オオハンゴンソウ(特定外来植物)の抜取り作業に取り組んでいます。



SEFの森林再生事業は

「国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)」が  
推薦する事業として認定を受けています。